

2020 ホームカミングデー オープニングセレモニー 学長挨拶

広島大学長の越智光夫でございます。

皆様、本日はお忙しい中、ようこそ広島大学ホームカミングデーにお越しくださいました。

今回は、新型コロナウイルスの感染が続く中、大学祭は学生諸君の自主的な判断で中止となりましたが、ホームカミングデーは新しい生活様式のもと開催する運びとなりました。

コロナ禍という未曾有の危機に対し、広島大学は健康と安全を最優先に、4月8日からオンライン授業を開始いたしました。

現在は、対面授業を6割に拡大しております。

活気が戻ってきたキャンパスに、皆様をお迎えすることができて、何よりうれしく思っております。

この間、アルバイト収入の減少などで日々の生活に困窮する学生を支えるため、「応急学生支援金」を全国に先駆けて4月下旬から開始し、現在も継続しています。全国の卒業生や地域の皆様から賜ったご厚志に対し、あらためて御礼申し上げます。

最近の広島大学の動きをいくつかご紹介いたします。

大学院改革につきましては今年度で一段落いたしました。

11あった研究科を人間社会科学、先進理工系科学、統合生命科学、医系科学の4研究科に再編しました。専門領域の枠を超えて、多様な課題に挑戦する人材育成を進めております。

さらに、国立大学初となるチャレンジもこの秋、開始しました。

米国で「最も革新的な学校」のトップを走るアリゾナ州立大学との合意により、サンダーボードグローバル経営大学院の広島大学グローバル校を設置したことです。

来年夏からは、学生の受け入れを本格化させます。

世界水準の大学の教員や学生と広大生が同じキャンパスで交流できるようになり、本学の国際化がいつそう進展するものと期待しております。

また、地元の東広島市と大学が一体となって、新たなイノベーション創出と、世界から起業家や研究者が集まる持続可能なまちづくりにも取り組んでいます。

広島大学は、4年後の2024年に創立75周年を迎えます。

もっとも古い源流である白島学校の創設から数えて150年の節目の年でもあります。

これに合わせ、地域や実業界との協働をいっそう深めていくため東広島、霞、東千田3キャンパスの抜本的な機能強化を図ることといたしました。

「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」への力強いご支援を、切にお願い申し上げます。

本日のオープニングセレモニーでは、表彰式に続いて、生物学者として活躍されている福岡伸一博士にご講演いただきます。

多彩な才能を発揮されている福岡博士のお話を、楽しみにしています。

このほか、キャンパスでは、広島大学の最先端の教育・研究の一端に触れていただける催しを用意しています。今年創立100周年を迎えた工学部では、本日、記念事業を開催します。

深まる秋の一日、広島大学の「息吹」を心行くまで体感していただきますよう祈念して、開会の挨拶といたします。

本日は、誠にありがとうございます。

令和2年11月7日 広島大学長 越智光夫